

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	2027年6月9日まで（2017年7月31日設定）	
運用方針	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかります。なお、為替ヘッジが困難な一部の通貨については、当該通貨との相関等を勘案し、他の通貨による代替ヘッジを行う場合があります。	
主要運用対象	ベビーファンド	ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	株式への実質投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。 原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

運用報告書（全体版）

ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

第11期（決算日：2022年12月9日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
 さて、お手持ちの「ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）」は、去る12月9日に第11期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用
フリーダイヤル **0120-151034**
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

ファンドマネージャーのコメント

当期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

投資環境

世界の株式市況は、2022年7月米消費者物価指数（CPI）の伸びが予想以上に鈍化したことなどを受け、市場の利下げ織り込みが加速し株価が上昇する局面があったものの、米国の急速な金融引き締めによる景気後退懸念が強まったことから、下落しました。一方で、経済正常化による業績回復期待を背景に、ビューティー・ビジネス関連企業の株価は概ね堅調に推移しました。

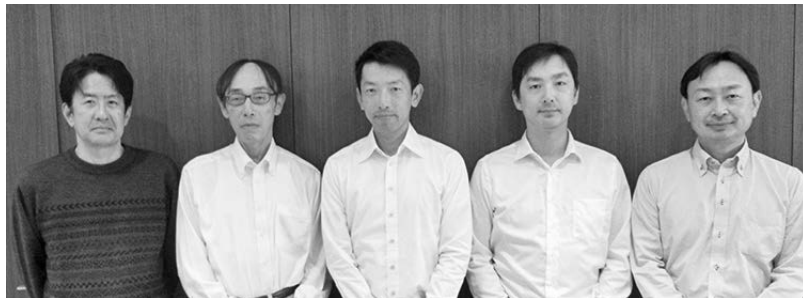
運用のポイント

世界的な高いブランド力や、高成長が続くオンライン、中国本土での販売力を重視し、引き続き「PROCTER & GAMBLE CO/THE」、 「ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A」、 「L'OREAL」などの欧米有力化粧品メーカーを上位に組み入れたポートフォリオを維持しました。中国の新型コロナウイルスに対する厳しい規制は徐々に緩和され、世界的には経済正常化の動きはさらに進んでいくものと見込んでいます。経済正常化が進む米国では大手化粧品小売りチェーンの売り上げが回復するなど、対面でのミーティングの増加や旅行需要の回復に伴ってメイクアップを牽引役とした化粧品需要や免税品販売の

回復も期待しています。また、化粧品業界でも「Z世代」の存在感が高まる中、SNSを中心としたデジタルマーケティングや環境を意識した商品開発に強みのある化粧品企業などにも注目しています。

運用環境の見通しおよび今後の運用方針

ビューティー市場は、高齢化によるアンチエイジング需要の高まりや、女性の社会進出など社会構造の変化、新興国での化粧文化の普及といった構造的な成長要因により、中長期にわたり着実な成長が見込まれる、という見方に変更はありません。短期的には、中国のゼロコロナ政策による中国人需要の低迷、インフレや景気後退による需要減少に対する懸念が残っています。しかしながら、経済正常化が進む米国に続き、足元では日本も外国人の入国規制緩和で旅行客が少しずつ戻ってくるなど、グローバルに経済正常化が進んでいけば、ビューティー市場はより安定的な成長の軌道に戻っていくものと予想しています。当ファンドでは、ビューティー市場の構造的な成長からの恩恵を享受すると考えられる企業を中心に投資を行います。また、ビューティー市場の動向を常に精査しながら、ポートフォリオの調整や新規銘柄の発掘などを行い、今後もパフォーマンスの向上に努めてまいります。



株式運用部
ファンドマネージャー

小島 直人

安井 陽一郎

柳原 武士

西 直人

秋元 政隆

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・－印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近5期の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額			株組 入比	式率	株先 物比	式率	純資 産額
		税分	込配	み金 騰落 中率					
	円		円		%	%	%	百万円	
7期(2020年12月9日)	10,000		951	13.8	90.8		—	4,427	
8期(2021年6月9日)	10,000		925	9.3	94.0		—	4,175	
9期(2021年12月9日)	10,000		600	6.0	96.9		—	5,124	
10期(2022年6月9日)	8,448		0	△15.5	97.9		—	4,712	
11期(2022年12月9日)	8,659		0	2.5	99.0		—	4,715	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基準 額	騰落率		株組 入比	式率	株先 物比	式率
		騰	落				
(期首) 2022年6月9日	円 8,448	% —	% —	% 97.9	% 97.9	% —	% —
6月末	8,311	△1.6	—	96.6	96.6	—	—
7月末	8,653	2.4	—	96.1	96.1	—	—
8月末	8,423	△0.3	—	97.7	97.7	—	—
9月末	7,836	△7.2	—	97.6	97.6	—	—
10月末	8,000	△5.3	—	97.9	97.9	—	—
11月末	8,400	△0.6	—	96.9	96.9	—	—
(期末) 2022年12月9日	8,659	2.5	—	99.0	99.0	—	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

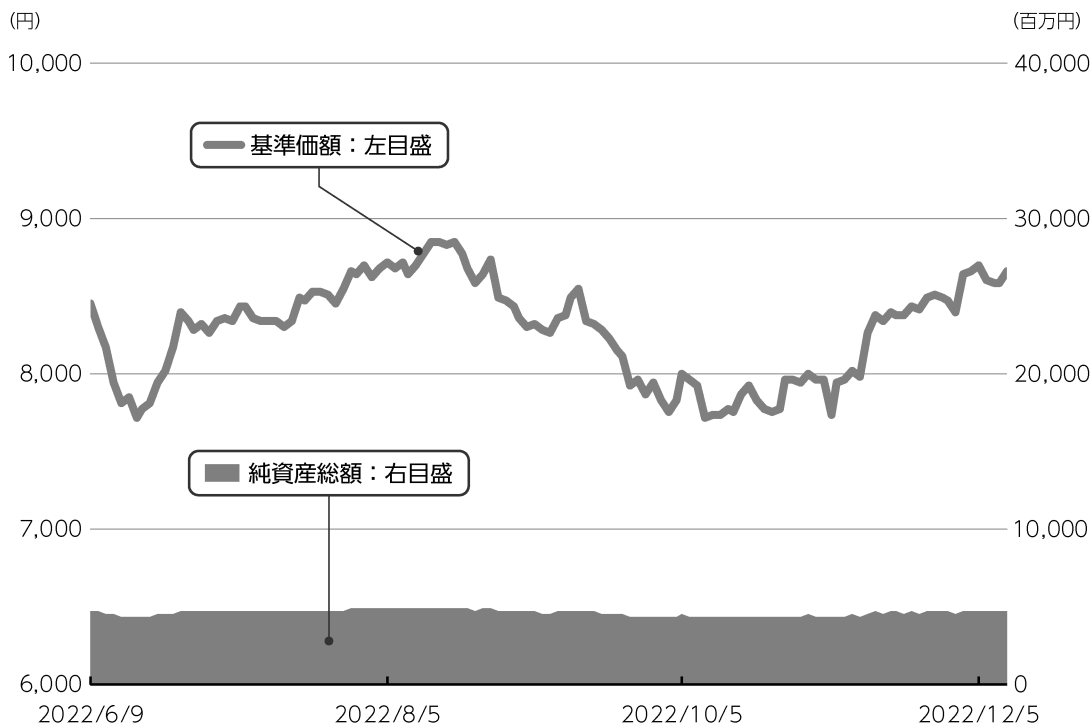
(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第11期：2022年6月10日～2022年12月9日

▶ 当期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第11期首	8,448円
第11期末	8,659円
既払分配金	0円
騰落率	2.5%

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期首に比べ2.5%の上昇となりました。

▶ 基準価額の主な変動要因

上昇要因

組入銘柄（LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI、資生堂、L'OREAL）の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。

第11期：2022年6月10日～2022年12月9日

▶ 投資環境について

▶ 株式市況

世界の株式市況は下落しました。

世界の株式市況は、2022年7月米消費者物価指数（CPI）の伸びが予想以上に鈍化したことなどを受け、市場の利下げ

織り込みが加速し株価が上昇する局面があったものの、米国の急速な金融引き締めによる景気後退懸念が強まったことから、下落しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）

ワールド・ビューティー・マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行いました。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減をはかりました。

通貨別では、ユーロの比率を引き上げた一方、米ドルやスイスフランなどの比率を引き下げました。

組入銘柄数については、業績動向などから銘柄の売買を行い、期首、期末ともに35銘柄としました。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。

当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」などに着目した運用を行いました。

主な銘柄入替は以下の通りです。環境を意識した商品ラインアップや価格競争力、SNSを中心としたマーケティング手法によりZ世代から絶大な支持を受け、長期にわたる高成長が期待できる米国化粧品メーカーの「ELF BEAUTY INC」の新規組み入れを行いました。矯正治療領域における厳しい競争環境などから長期の成長持続性が懸念されたため、セルフ矯正治療のサポートを提供する「SMILEDIRECTCLUB INC」を全売却しました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

▶ 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、決定します。原則として、決算日の基準価額水準が当初元本額10,000円（10,000口当たり）を超えている場合には、当該超えている部分について、分配対象額の範囲内で、全額分配を行います。

（資金動向や市況動向等により変更する場合があります。）この結果、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第11期
	2022年6月10日～2022年12月9日
当期分配金（対基準価額比率）	－（－％）
当期の収益	－
当期の収益以外	－
翌期繰越分配対象額	350

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針（作成対象期間末での見解です。）

▶ ワールド・ビューティー・オープン （為替ヘッジあり）

マザーファンド受益証券を高位に組み入れる方針です。

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行い、為替変動リスクの低減をはかります。

▶ ワールド・ビューティー・マザーファンド

ビューティー市場は、高齢化によるアンチエイジング需要の高まりや、女性の社会進出など社会構造の変化、新興国での化粧文化の普及などによって中長期にわたり着実な成長が見込まれます。短期的には、中国のゼロコロナ政策による中国人需要の低迷、インフレや景気後退による需要減少に対する懸念が残っています。しかしながら、経済正常化が進む米国に続き、足元では日本も外国人の入国規制緩和で旅行客が少しずつ戻ってくるなど、グローバルに経済正常化が進んでいけば、ビューティー市場はより安定的な成長の軌道に戻っていくものと予想しています。株式市況については、インフレ懸念や景気動向への不透明感、地政学リスクを背景に神経質な値動きが続くと見込まれますが、徐々に業績を反映した相場展開に戻ると考えております。

こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新

しい販売手法」などに注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのはもちろんのこと、新興国の需要を着実に取り込んでいる企業に着目しています。

近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけでなく、アプリを利用した個人の肌質や好みに合わせた化粧品の提案が可能となり、各社の対応力が試されています。こうした新しい販売手法を効果的に活用している企業にも注目しています。当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、ビューティー市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、ビューティー市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

2022年6月10日～2022年12月9日

1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	75	0.904	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(37)	(0.441)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(37)	(0.441)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.011	(b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(1)	(0.011)	
(c) 有価証券取引税	0	0.000	(c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税 ÷ 期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
(d) その他費用	1	0.015	(d) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.013)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	77	0.930	

期中の平均基準価額は、8,276円です。

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してありません。

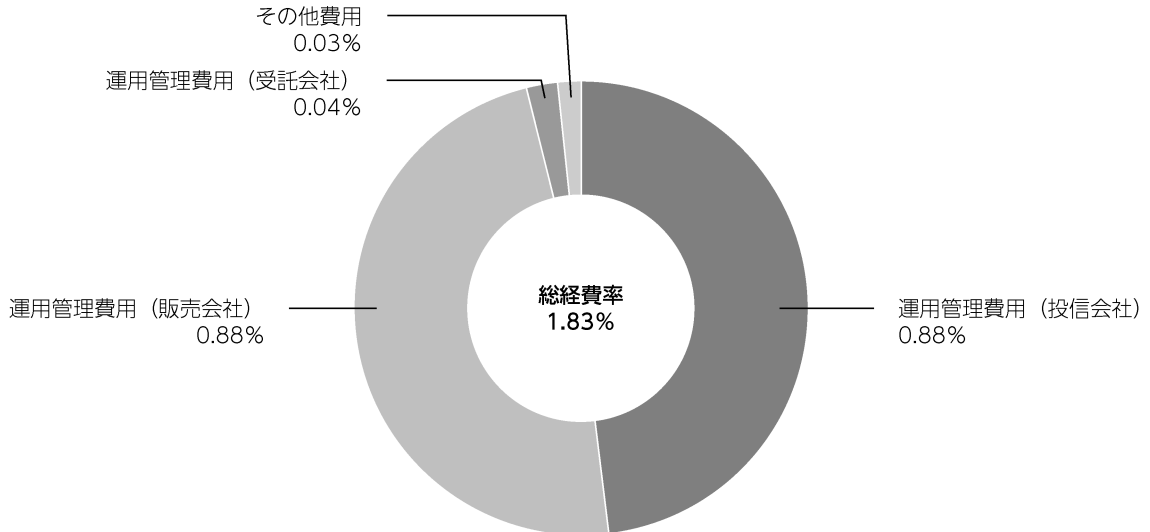
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.83%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2022年6月10日～2022年12月9日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 329,136	千円 564,890	千口 521,527	千円 891,870

○株式売買比率

（2022年6月10日～2022年12月9日）

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
	ワールド・ビューティー・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	2,251,582千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	27,271,216千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.08

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

（2022年6月10日～2022年12月9日）

利害関係人との取引状況

<ワールド・ビューティー・オープン（為替ヘッジあり）>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替先物取引	百万円 28,950	百万円 12,289	% 42.4	百万円 28,682	百万円 17,231	% 60.1

<ワールド・ビューティー・マザーファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 -	百万円 -	% -	百万円 1,710	百万円 500	% 29.2

平均保有割合 16.4%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2022年12月9日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千口 2,805,786	千口 2,613,395	千円 4,710,123

○投資信託財産の構成

(2022年12月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
ワールド・ビューティー・マザーファンド	千円 4,710,123	% 98.1
コール・ローン等、その他	91,988	1.9
投資信託財産総額	4,802,111	100.0

(注) ワールド・ビューティー・マザーファンドにおいて、期末における外貨建純資産（25,191,286千円）の投資信託財産総額（28,672,189千円）に対する比率は87.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=136.95円	1 ユーロ=144.54円	1 イギリスポンド=167.50円	1 スイスフラン=146.27円
1 香港ドル=17.59円	100韓国ウォン=10.43円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2022年12月9日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	8,741,022,143
コール・ローン等	88,031,411
ワールド・ビューティー・マザーファンド(評価額)	4,710,123,416
未収入金	3,942,867,316
(B) 負債	4,025,786,470
未払金	3,979,413,507
未払解約金	4,733,313
未払信託報酬	41,560,939
未払利息	215
その他未払費用	78,496
(C) 純資産総額(A-B)	4,715,235,673
元本	5,445,286,390
次期繰越損益金	△ 730,050,717
(D) 受益権総口数	5,445,286,390口
1万口当たり基準価額(C/D)	8,659円

<注記事項>

- ①期首元本額 5,577,905,675円
 期中追加設定元本額 214,279,830円
 期中一部解約元本額 346,899,115円
 また、1口当たり純資産額は、期末0.8659円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は730,050,717円です。

③分配金の計算過程

項 目	2022年6月10日～ 2022年12月9日
費用控除後の配当等収益額	20,992,745円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	－円
収益調整金額	126,975,751円
分配準備積立金額	42,683,881円
当ファンドの分配対象収益額	190,652,377円
1万口当たり収益分配対象額	350円
1万口当たり分配金額	－円
収益分配金金額	－円

○損益の状況（2022年6月10日～2022年12月9日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 18,564
受取利息	72
支払利息	△ 18,636
(B) 有価証券売買損益	160,935,188
売買益	743,543,589
売買損	△582,608,401
(C) 信託報酬等	△ 41,898,503
(D) 当期損益金(A+B+C)	119,018,121
(E) 前期繰越損益金	△725,551,169
(F) 追加信託差損益金	△123,517,669
(配当等相当額)	(126,820,634)
(売買損益相当額)	(△250,338,303)
(G) 計(D+E+F)	△730,050,717
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	△730,050,717
追加信託差損益金	△123,517,669
(配当等相当額)	(126,975,751)
(売買損益相当額)	(△250,493,420)
分配準備積立金	63,676,626
繰越損益金	△670,209,674

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っています場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

ワールド・ビューティー・マザーファンド

《第11期》決算日2022年12月9日

[計算期間：2022年6月10日～2022年12月9日]

「ワールド・ビューティー・マザーファンド」は、12月9日に第11期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第11期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針	主として日本を含む世界各国のビューティー・ビジネス関連企業の株式に投資を行います。なお、ビューティー・ビジネス関連企業とは、委託会社の視点において、人の美しさの向上に寄与する事業などを行い、今後の美容関連市場における成長の恩恵を享受すると考えられる企業をいいます。株式への投資にあたっては、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、銘柄選定を行います。株式の組入比率は高位を維持することを基本とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主 要 運 用 対 象	日本を含む世界各国の株式を主要投資対象とします。
主 な 組 入 制 限	株式への投資割合に制限を設けません。 外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率			
	円		%	%	%	百万円
7期(2020年12月9日)	14,052		14.5	97.4	—	21,033
8期(2021年6月9日)	16,252		15.7	98.5	—	19,875
9期(2021年12月9日)	17,609		8.3	97.6	—	27,433
10期(2022年6月9日)	16,935	△	3.8	97.1	—	28,122
11期(2022年12月9日)	18,023		6.4	99.1	—	27,458

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 円	騰 落 率	株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
		率		
(期 首) 2022年 6 月 9 日	16,935	—	97.1	—
6 月 末	16,830	△0.6	97.0	—
7 月 末	17,288	2.1	96.9	—
8 月 末	17,175	1.4	98.0	—
9 月 末	16,529	△2.4	97.3	—
10 月 末	17,349	2.4	97.7	—
11 月 末	17,539	3.6	97.5	—
(期 末) 2022年12月 9 日	18,023	6.4	99.1	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「株式先物比率」は買建比率－売建比率。

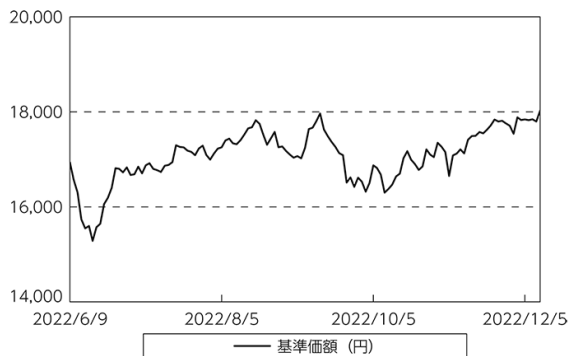
○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ6.4%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

組入銘柄 (LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI、資生堂、L'OREAL) の値上がりなどを背景に基準価額は上昇しました。

円に対して米ドルが上昇したことが、プラスに寄与しました。

●投資環境について

◎株式市況

・世界の株式市況は下落しました。

世界の株式市況は、2022年7月米消費者物価指数 (CPI) の伸びが予想以上に鈍化したことなどを受け、市場の利下げ織り込みが加速し株価が上昇する局面があったものの、米国の急速な金融引き締めによる景気後退懸念が強まったことから、下落しました。

◎為替市況

・円に対して米ドル、ユーロは上昇しました。

- 当該投資信託のポートフォリオについて
 - ・日本を含む世界各国の企業の中から構造的な成長が続くビューティー市場からの恩恵を最大限享受すると考えられる企業の取材を通じて選別しました。
 - ・当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」などに着目した運用を行いました。
 - ・通貨別では、ユーロの比率を引き上げた一方、米ドルやスイスフランなどの比率を引き下げました。
 - ・組入銘柄数については、業績動向などから銘柄の売買を行い、期首、期末ともに35銘柄としました。

主な銘柄入替は以下の通りです。

環境を意識した商品ラインアップや価格競争力、SNSを中心としたマーケティング手法によりZ世代から絶大な支持を受け、長期にわたる高成長が期待できる米国化粧品メーカーの「ELF BEAUTY INC」の新規組み入れを行いました。

矯正治療領域における厳しい競争環境などから長期の成長持続性が懸念されたため、セルフ矯正治療のサポートを提供する「SMILEDIRECTCLUB INC」を全売却しました。

○今後の運用方針

- ・ビューティー市場は、高齢化によるアンチエイジング需要の高まりや、女性の社会進出など社会構造の変化、新興国での化粧文化の普及などによって中長期にわたり着実な成長が見込まれます。短期的には、中国のゼロコロナ政策による中国人需要の低迷、インフレや景気後退による需要減少に対する懸念が残っています。しかしながら、経済正常化が進む米国に続き、足元では日本も外国人の入国規制緩和で旅行者が少ずつ戻ってくるなど、グローバルに経済正常

- 化が進んでいけば、ビューティー市場はより安定的な成長の軌道に戻っていくものと予想しています。
- ・株式市況については、インフレ懸念や景気動向への不透明感、地政学リスクを背景に神経質な値動きが続くと見込まれますが、徐々に業績を反映した相場展開に戻ると考えております。
- ・こうした投資環境のもと、当ファンドでは、「ブランド力」、「新興国」、「新しい販売手法」などに注目しています。ビューティー関連製品は、直接肌につけるタイプの商品が多いため、相対的に価格が高かったとしても品質や安全性が高い、欧米や日本の大手化粧品メーカーの商品が選好されやすい市場です。また、新興国における化粧品の一人当たり消費額は依然として低く、化粧文化の普及による市場拡大の余地は非常に大きいと考えています。そのため、当ファンドでは、高いブランド力を持つのはもちろんのこと、新興国の需要を着実に取り込んでいる企業に着目しています。
- ・近年では、スマートフォンなどの普及によって、オンライン販売が大きく伸びているだけではなく、アプリを利用した個人の肌質や好みに合わせた化粧品の提案が可能となり、各社の対応力が試されています。こうした新しい販売手法を効果的に活用している企業にも注目しています。
- ・当ファンドのポートフォリオ構築にあたっては、ビューティー・ビジネス関連企業が主に販売を行っている「地域」や、商品の「価格」、製品ブランド等の戦略を重点的に調査の上、ビューティー市場の成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を中心に投資を行っています。今後も、企業収益の成長性、財務の健全性、株価水準等を考慮して、ビューティー市場の成長の恩恵を受けると判断した銘柄を選定します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2022年6月10日～2022年12月9日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式)	円 2 (2)	% 0.011 (0.011)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	1 (1) (0)	0.008 (0.008) (0.000)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用 信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	3	0.019	
期中の平均基準価額は、17,075円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年6月10日～2022年12月9日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国内	上場	千株 —	千円 —	千株 64	千円 253,343
	外 国	百株 209	千アメリカドル 2,017	百株 1,188	千アメリカドル 8,013
	ユーロ	—	千ユーロ —	31	千ユーロ 1,384
	フランス	(105)	(—)		
	イギリス	—	千イギリスポンド —	203	千イギリスポンド 1,026
	スイス	—	千スイスフラン —	90	千スイスフラン 1,564

(注) 金額は受渡代金。

(注) ()内は株式分割・増資割当および合併等による増減分です。

○株式売買比率

(2022年6月10日～2022年12月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,251,582千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	27,271,216千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.08

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月10日～2022年12月9日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	—	—	%	1,710	500	29.2

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

○組入資産の明細

(2022年12月9日現在)

国内株式

銘 柄	期首(前期末)		当 期		末
	株 数	金 額	株 数	評 価	額
化学 (100.0%)		千株		千株	千円
花王	62.5		62.5		345,187
資生堂	205.1		174.9		1,136,850
マンダム	14.5		14.5		21,286
ミルボン	8.8		8.8		49,368
ファンケル	494.7		460.9		1,195,574
コーセー	2.1		2.1		32,403
ポーラ・オルビスホールディングス	10.8		10.8		20,368
合 計	株 数	金 額	798	734	2,801,037
	銘 柄 数 < 比 率 >		7	7	<10.2% >

(注) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

外国株式

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	百株	百株	千アメリカドル	千円		
COLGATE-PALMOLIVE CO	1,875	1,740	13,596	1,862,021	家庭用品・パーソナル用品	
ESTEE LAUDER COMPANIES-CL A	707	672	16,313	2,234,170	家庭用品・パーソナル用品	
JOHNSON & JOHNSON	224	224	3,969	543,592	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
PROCTER & GAMBLE CO/THE	1,214	1,087	16,448	2,252,619	家庭用品・パーソナル用品	
CLOROX COMPANY	253	72	1,081	148,113	家庭用品・パーソナル用品	
ALIGN TECHNOLOGY INC	2	2	54	7,485	ヘルスケア機器・サービス	
COOPER COS INC/THE	110	110	3,513	481,205	ヘルスケア機器・サービス	
LULULEMON ATHLETICA INC	185	185	6,928	948,849	耐久消費財・アパレル	
ULTA BEAUTY INC	220	243	11,728	1,606,173	小売	
CHURCH & DWIGHT CO INC	596	596	4,836	662,364	家庭用品・パーソナル用品	
ABBVIE INC	399	399	6,623	907,019	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	
COTY INC-CL A	802	802	643	88,086	家庭用品・パーソナル用品	
APTARGROUP INC	983	826	8,915	1,220,911	素材	
PLANET FITNESS INC - CL A	370	370	2,836	388,447	消費者サービス	
SMILEDIRECTCLUB INC	553	—	—	—	ヘルスケア機器・サービス	
ENVISTA HOLDINGS CORP	1,239	1,239	4,072	557,741	ヘルスケア機器・サービス	
INMODE LTD	804	804	2,928	401,122	ヘルスケア機器・サービス	
ELF BEAUTY INC	—	186	1,024	140,278	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	10,537	9,558	105,514	14,450,205	
	銘柄数<比率>	17	17	—	<52.6%>	
(ユーロ…ドイツ)			千ユーロ			
BEIERSDORF AG	142	142	1,519	219,620	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	142	142	1,519	219,620	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.8%>	
(ユーロ…フランス)						
LVMH MOET HENNESSY LOUIS VUI	220	212	15,242	2,203,194	耐久消費財・アパレル	
L'OREAL	484	462	16,401	2,370,600	家庭用品・パーソナル用品	
INTERPARFUMS SA	1,058	1,163	6,203	896,589	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	1,763	1,837	37,846	5,470,384	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<19.9%>	
ユーロ計	株数・金額	1,905	1,980	39,366	5,690,004	
	銘柄数<比率>	4	4	—	<20.7%>	
(イギリス)			千イギリスポンド			
UNILEVER PLC	2,236	2,113	8,792	1,472,692	家庭用品・パーソナル用品	
RECKITT BENCKISER GROUP PLC	896	816	4,798	803,678	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	3,132	2,929	13,590	2,276,370	
	銘柄数<比率>	2	2	—	<8.3%>	
(スイス)			千スイスフラン			
GIVAUDAN-REG	25	23	7,075	1,034,994	素材	
STRAUMANN HOLDING AG-REG	370	281	3,002	439,173	ヘルスケア機器・サービス	
DUFREY AG-REG	703	703	2,693	393,933	小売	
小計	株数・金額	1,098	1,007	12,771	1,868,101	
	銘柄数<比率>	3	3	—	<6.8%>	
(香港)			千香港ドル			
L'OCCITANE INTERNATIONAL SA	2,550	2,550	6,196	108,996	家庭用品・パーソナル用品	
小計	株数・金額	2,550	2,550	6,196	108,996	
	銘柄数<比率>	1	1	—	<0.4%>	

銘柄	株数	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外貨建金額		邦貨換算金額
(韓国) LG H&H	百株 2	百株 2	千韓国ウォン 195,552	千円 20,396	家庭用品・パーソナル用品
小 計	株 数 ・ 金 額 2	2	195,552	20,396	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	—	< 0.1% >	
合 計	株 数 ・ 金 額 19,225	18,028	—	24,414,074	
	銘 柄 数 < 比 率 >	28	—	< 88.9% >	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 邦貨換算金額欄の〈 〉内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2022年12月9日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 27,215,112	% 94.9
コール・ローン等、その他	1,457,077	5.1
投資信託財産総額	28,672,189	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (25,191,286千円) の投資信託財産総額 (28,672,189千円) に対する比率は87.9%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=136.95円	1 ユーロ=144.54円	1 イギリスポンド=167.50円	1 スイスフラン=146.27円
1 香港ドル=17.59円	100韓国ウォン=10.43円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年12月9日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	29,387,329,574
コール・ローン等	578,344,626
株式(評価額)	27,215,112,193
未収入金	1,574,462,888
未収配当金	19,409,867
(B) 負債	1,929,197,032
未払金	718,195,786
未払解約金	1,211,000,000
未払利息	1,246
(C) 純資産総額(A-B)	27,458,132,542
元本	15,234,744,250
次期繰越損益金	12,223,388,292
(D) 受益権総口数	15,234,744,250口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,023円

<注記事項>

- ①期首元本額 16,606,152,793円
 期中追加設定元本額 423,504,366円
 期中一部解約元本額 1,794,912,909円
 また、1口当たり純資産額は、期末1.8023円です。

②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジなし)	12,621,348,358円
ワールド・ビューティー・オープン(為替ヘッジあり)	2,613,395,892円
合計	15,234,744,250円

○損益の状況 (2022年6月10日～2022年12月9日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	174,182,849
受取配当金	173,788,970
受取利息	557,898
その他収益金	123
支払利息	△ 164,142
(B) 有価証券売買損益	1,590,475,370
売買益	2,414,965,016
売買損	△ 824,489,646
(C) 保管費用等	△ 2,108,904
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,762,549,315
(E) 前期繰越損益金	11,516,370,434
(F) 追加信託差損益金	290,925,634
(G) 解約差損益金	△ 1,346,457,091
(H) 計(D+E+F+G)	12,223,388,292
次期繰越損益金(H)	12,223,388,292

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。